



# 市民の安全・安心対策、 行財政改革などに質問！

## 18年度予算総額1,716億円を可決

今定例会は、2月28日に開会しました。まず、17年度補正予算などの議案が提案され、各常任委員会で審査のうえ、満場一致で可決しました。

3月6日には、18年度の市政運営の大綱となる新年度予算をはじめ、関連する45件の議案が提案され、市長から施政方針が表明されました。

9・10日には各会派を代表する8人の議員が、新年度の市政運営に対し総括質問を行いました。

13日から20日まで開かれた予算特別委員会では、新年度予算や条例などに対し、連日審査を行いました。

23日には、予算特別委員長から審査結果の報告を受け、議案第15号「岸和田市国民保護協働委の設置」の制定と第16号「岸和田市国民保護対策本部及び岸和田市緊急対応事態対策本部条例の制定」については賛成多数で可決しました。その他の議案については満場一致で可決しました。

その後、助役、公平委員、固定資産評価審査委員、監査委員の選任や教育委員の任命についてそれぞれ同意し、閉会しました。

今定例会は、2月28日に開会しました。まず、17年度補正予算などの議案が提案され、各常任委員会で審査のうえ、満場一致で可決しました。

3月6日には、18年度の市政運営の大綱となる新年度予算をはじめ、関連する45件の議案が提案され、市長から施政方針が表明されました。

9・10日には各会派を代表する8人の議員が、新年度の市政運営に対し総括質問を行いました。

13日から20日まで開かれた予算特別委員会では、新年度予算や条例などに対し、連日審査を行いました。

23日には、予算特別委員長から審査結果の報告を受け、議案第15号「岸和田市国民保護協働委の設置」の制定と第16号「岸和田市国民保護対策本部及び岸和田市緊急対応事態対策本部条例の制定」については賛成多数で可決しました。その他の議案については満場一致で可決しました。

その後、助役、公平委員、固定資産評価審査委員、監査委員の選任や教育委員の任命についてそれぞれ同意し、閉会しました。

### 本会議での 審議状況

予算特別委員会では、18年度一般会計予算をはじめ、特別会計予算（6会計）、企業会計予算（3会計）、条例の制定・改正案など45件の議案について、市民ニーズが反映されているか、効率よく予算編成されているかなどに主眼を置き、詳細な審査を行いました。

議案第15号、第16号では反対討論がありました。起立表決の結果、賛成多数で可決しました。それ以外の43件の議案については満場一致で可決しました。

本市においては、市民税や地方交付税などで増収が見込まれるが、社会保障費、公債費などの義務的経費が増加してきており、非常に厳しい財政運営となっている。

提案された平成18年度予算などには、城北・光明小学校で給食の一部民営化、障害児タイムケア事業、稚園のアフタースクールの実施、東岸和田駅付近高架化事業とその周辺まちづくりの促進など、市民福祉の向上や将来のまちづくりに向けた取り組みが認められる。

なお、審査過程で主として次のような意見・要望があった。

▽旧コスモポリス地域の整備は、地権者との合意形成を促進を、また東岸和田駅周辺整備には市の積極的な支援を

▽市政運営は、政策推進戦

### 委員報告要旨 意見・要望

予算特別委員会では、18年度一般会計予算をはじめ、特別会計予算（6会計）、企業会計予算（3会計）、条例の制定・改正案など45件の議案について、市民ニーズが反映されているか、効率よく予算編成されているかなどに主眼を置き、詳細な審査を行いました。

議案第15号、第16号では反対討論がありました。起立表決の結果、賛成多数で可決しました。それ以外の43件の議案については満場一致で可決しました。

- 【予算特別委員】
- 委員長 藤 浪 勝
  - 委員 岡 林 憲
  - 委員 池 本 清
  - 委員 雪 本 浩
  - 委員 山 本 啓
  - 委員 岡 田 悦
  - 委員 平 松 治
  - 委員 山 田 一
  - 委員 井 上 忠
  - 委員 小 田 孝
  - 委員 小 野 和
  - 委員 村 野 精

- ▽小学校の安全管理対策見守りボランティアのさらなる強化、充実を
- ▽行財政改革は市民の役割分担を明確にし、民営化を進めさらなるスリム化を
- ▽予算要求額と内示額との乖離（かじり）が大きい場合、しっかりとした調整を
- ▽障害者自立支援法による障害者や家族の負担に対する市独自の減免措置を
- ▽学校給食の民営化は、検討委員会報告書と公的責任を踏まえ、これまでの水準の維持を

略会議を活用し、諸問題に対しスピーディーに発揮できる消防本部庁舎の早期建設を

▽市民病院での電子カルテ化やオンライン電子レセプトの早急な取り組みを

▽食育を進め、中学校給食の早期実施を

▽乳幼児医療費助成の対象年齢の引き上げと、所得制限の廃止を

▽学校図書館に専任司書の配置を

▽小学校の安全管理対策見守りボランティアのさらなる強化、充実を

▽行財政改革は市民の役割分担を明確にし、民営化を進めさらなるスリム化を

▽予算要求額と内示額との乖離（かじり）が大きい場合、しっかりとした調整を

▽障害者自立支援法による障害者や家族の負担に対する市独自の減免措置を

▽学校給食の民営化は、検討委員会報告書と公的責任を踏まえ、これまでの水準の維持を

### 議会を傍聴しませんか

第2回定例会予定

傍聴を希望される人は、当日、市役所新館3階議会受付へお越しください。

- ▼6月16日(金) 本会議
- ▼6月19日(月) 文教民生常任委員会
- ▼6月20日(火) 事業常任委員会
- ▼6月21日(水) 総務常任委員会
- ▼6月22日(木) 本会議
- ▼6月23日(金) 本会議

※日程は、一部変更される場合があります。  
※いずれも午前10時開会の予定です。

## 歴史を大切に 末代まで残る 公共建築物を

【問】岡山県にある閑合学校は、日本最古の学校で、観光地としても有名な本県でもこのように末代まで残る公共建築物が必要だと思われ。

【答】これまでは、文化財を保存することに主眼が置かれていたが、最近ではどうしたら活用できるか、どのように活用するかというところが求められている。

かつての三角屋根の織物工場や旧紀州街道沿いの町屋は、維持管理に大きな費用がかかるため、取り壊されているのが現状だが、本市の歴史と文化を代表する自景会館や五風荘、旧岸和田村尋常小学校校舎は、登録文化財として今なお特色を生かした活用がなされている。

これらの建築物は観光資源ともなり得るもので、文化財保護審議会の意見を聞き、建物の管理者とも協議しながら、保存・保護を進め、さらなる活用が図られるよう検討していく。



歴史と文化が育つ建築物を

## 「岸和田再生」への その思いは

【問】市長は、「岸和田再生」を掲げ当選した。18年度の施政方針では「国、府そして産業界との連携を強固にする」「政策推進戦略会議を設置し、行政運営のスピードアップを図る」などに市長の決意があるように思う。政府で議論されて

【答】市長は、「岸和田再生」を掲げ当選した。18年度の施政方針では「国、府そして産業界との連携を強固にする」「政策推進戦略会議を設置し、行政運営のスピードアップを図る」などに市長の決意があるように思う。政府で議論されて

【答】「市民自治都市の実現を目指す」という理念を踏まえ、自治基本条例に基づいた市政運営を行い、岸和田の再生に向けて着実に進んでいく。

【答】「市民自治都市の実現を目指す」という理念を踏まえ、自治基本条例に基づいた市政運営を行い、岸和田の再生に向けて着実に進んでいく。